



会長 熊谷敏明
 幹事 菅原慶一
 会報 氏家良典 江川元徳
 佐藤幸一 飯塚仁哉
 例会場 ホテルサンシャイン佐沼 ☎22-8180 FAX22-0327
 例会日 毎週木曜日 12:30~13:30
 事務所 ホテルサンシャイン佐沼 ☎22-8180 FAX22-0327

第2585回例会 2017. 2. 23 No.29

本日の出席率

・本日の出席率 89.28%

ニコニコボックス

- ・菅原慶一幹事 村上武彦会員のスピーチに期待して。
- ・村上武彦会員 今日は、私のスピーチの日です。よろしく願います。
- ・鈴木彦太会員 村上武彦会員のP・Pとしてのベテランの話題を多くにご期待を申し上げます。
- ・飯塚仁哉会員 国際観光の村上武彦会員の今日のお話は何でしょうか。
- ・高田次雄会員 今日は税理士記念日。1942年の今日、税務代理士法が制定され、1951年に税理士法に改正。改正前の税務代理士の方が、庶民にとっては親しみやすいようでした。本日のスピーチ、村上武彦会員勉強させて下さい。
- ・佐藤敬喜会員 先週の善行者表彰ご協力ありがとうございました。本日早退します。
- ・菅野幸一郎会員 村上武彦会員の年期の入ったスピーチにご期待します。
- ・佐藤静市会員 村上武彦会員のスピーチを楽しみに。
- ・猪股育夫会員 村上武彦会員のスピーチに期待して。
- ・岩淵正彦会員 村上武彦会員のスピーチに期待して。
- ・富士原裕子会員 村上武彦会員のユーモアあふれるスピーチ楽しみにしております。
- ・高橋義文会員 本日、大先輩のP・P村上武彦様のスピーチを楽しみに期待致します。
- ・伊藤幸子会員 本日のスピーチ楽しみにしています。
- ・佐々木崇会員以下 村上武彦会員のスピーチに期待。
 千葉吉男会員 氏家良典会員 山田直志会員
 佐々木源悦会員 小泉洋会員 遠藤光則会員
 高橋利光会員 小野寺伸浩会員 武川毅会員

及川昭宏会員 佐藤早智子会員 千葉正宏会員
 佐藤充彦会員
 以上、ありがとうございました。

会長要件 高橋利光副会長

本日は、熊谷敏明会長が仕事関係の講習会受講のため不在にしていますので、会長に代わり私から会長要件を申し上げます。

最近「世界でよいことをしよう」というロータリー財団の100年の歩みに関する本を読みました。僭越ではございますが一部ご紹介いたします。

1917年6月18日、第8回国際大会がアメリカ・アトランタで開催されたときに、当時のアーチ・クラフが「世界でよいことをするための基金を作るのが、極めて適切だと思われる」と演説しました。そのあと26ドル50セントの寄付があり、これを基金としてロータリー財団が生まれました。

長い100年の道のりには数多くの困難がありました。第一次世界大戦、第二次世界大戦、世界恐慌、そして何よりも大変だったことは、仲間・親友からの強い反対、策略や裏切りによるいじめを受けたことでしょう。幾多の困難に立ち向かうアーチ・クラフの強い信念と強い意志により、次第に財団の価値が認められ、現在では世界各地の貧困緩和、保健改善、教育機関の拡大、平和の推進を支える財団に成長しました。

ロータリー財団の発展で、とりわけ注目すべき点は、財団のプログラムの内容や目指す方向性、経営方針などを、その時代のニーズに合わせてたびたび見直しをかけ、ときには大きく変更をしながら、創設者アーチ・クラフの意思を引き継いできたことではないでしょうか。

「世界でよいことをしよう」の中には、先人の並々ならぬ努力や熱意が具体的な事例を上げて詳細に綴ら

れており、時には涙しながら、大変感銘を受けました。同時に、ロータリークラブに入会させていただいて、本当に良かったと思うと共にロータリアンとしての誇りと自信を強めることが出来ました。

幹事報告 菅原慶一幹事

- ・川崎大師RCより、会報が届く
- ・ドリーム・キッズより
ドリーム・キッズ通信が届く

各委員会報告

- ・ロータリー財団委員会 (高橋義文委員長)
3月のロータリーレート 1ドル=116円
- ・環境保全委員会 (山田直志委員長)
「長沼、人と自然のふれあい」研修会のお知らせ
日 時 2月26日(日) 13:30~16:30
場 所 北方公民館
内 容 1. 長沼と里山、人、文化の調査
2. 住んでいる人々の力を引き出すワークショップ
※大変急ですが、参加申し込みは2月25日(土)必着
「クリーンアップ湖沼群」のお知らせ
日 時 3月20日(月) 8:30~10:00
場 所 長沼フートピア公園

今週のスピーチ

「昔話(戦中から戦後にかけて)」

村上武彦会員

今日は、私の古い話をいたします。
 前は、学童疎開、昭和19年に鳴子に児童450人が疎開して来たことを話しました。
 佐沼にも何人かの疎開児童が来て一緒に遊びました。いじめ、自殺、セクハラ等の言葉は聞いた事はありませんでした。今の子供達は、気が小さいのか、気が弱いのかすぐ自殺を考えるようですが、これは、世の中の仕組が悪いのか、親が悪いのか、本当にさげなく思います。この様なことは、子供が少ない、隣りどおしの付き合いがない等、色んな要因があるかも知れませんが、その様なことのなかった昔が懐かしく感じられます。

私は、佐沼小学校のPTA会長を4年間、佐沼高等学校のPTA会長を3年間務めさせていただきましたが、PTAの総会時に壇上から見ると、小学校の時は若いお母さん達の顔がいきいきと見えました。しかし、高等学校の時は、真剣な眼差しで見入られていました。親も歳をとり、子供が受験を控えているからだと思いましたが、もう少し、のびのびと育てられないものかなと思います。

私が小学校の5年生の時に終戦となりましたが、受持の先生は非常に厳しい方で、何か悪いことをすると自爆5回、10回と言われて頭を机にぶつけさせるのです。又、中学校に入ると、誰か悪いことをすると全体責任で、全員を並べて尻を次々と青竹で割れるくらいたたかれていたのを見ていました。今ではそんなこと

をしたら大変なことだろうと思いますが、当時は、それでも親からは問題は出ませんでした。

現在のイオン通りから農協、ヨークベニマルの前あたりまで一面田んぼでした。現在の板倉には板倉駅があり、農協の所には佐沼駅があり、佐沼駅から鹿ヶ城公園を通り、鹿ヶ城大橋は鉄橋でしたので、鉄橋を渡って高田商店の所が東佐沼駅でした。鉄橋も近道をするため歩いて渡っていました。学校ではストーブでしたので、燃やすため杉葉拾いに大念寺、石打坂あたりまで行ったものでした。その頃は、石油、ガソリンがないためバスも木炭車でした。燃料が切れると途中で車を止め炭を補充して送風機で炭を起こして車を走らせていました。

宮城県では亜炭の生産が盛んでした。年間で21万トンを生産しており、その半分位が三本木で生産していたそうです。多賀城市では、約500ヘクタール(150万坪)を強制買収をし軍需工場を建てました。現在の苦竹陸上自衛隊です。軍需工場を建てるため朝鮮人がタコ部屋で生活していました。細倉鉦山、大谷鉦山にもタコ部屋があり働いていました。道具はスコップ、ツルハシ、モッコ等で全部人力でした。

学徒動員では、佐沼高等女学校の生徒も動員され、県内では13校の生徒が動員され軍需工場働いていました。

一方、食料が不足し栄養失調で餓死する人もいました。栄養のあるものが食べられないためにだんだんやせ細っていったのです。我々も何人かで毎晩のように、どじょうを取り、ナマズ、ウナギを取るために、どじょう、ニラ、タニシをつぶして作ったえさを入れた仕掛けを作って堀に行きました。取ったものは皆に分けてあげました。タニシは小さいですが、味噌煮にすると大変おいしかったです。主食は、うどん、大根の葉、かぼちゃ等を混ぜたカテメン、雑穀やイモなどでした。赤ガエルもおいしかったですよ。牛肉、豚肉は全く手に入らず、代わりにウサギ、クジラ、鶏、馬肉等でした。学校に持っていく弁当も、真ん中に梅干しが1コだけ入った「日の丸弁当」でした。当時は米も配給制でした。米の代わりにカンソウイモ、イワシ、ニンシ、クジラ肉等が配給されました。

又、授業時間内に、いなご取り、落ち穂拾いに連れていかれました。取ったいなごは何kgあるか記録してから大きな釜に入れてゆで、落ち穂は学校に集め、精米をして学校で食べました。

救急車等もなく、病院に患者を搬送する時は、雨戸をはずして、雨戸の上に寝かせて戸板の四方を4人で持ち上げて病院まで運びました。

冬は、学校の庭の日陰に学校から帰る時に水をまいて手作りのリンクを作り、翌日竹スキー、ゲタスキー等で遊びました。夏は、プールがありませんでしたので、迫川の現在の鹿ヶ城大橋と錦橋の間で、学校から連れて行かれ泳いでいました。魚も手づかみし、八目うなぎも取りました。ボロきれで作ったボール、木を削って作ったバット、堅い布で作ったグローブで野球もしました。

— 以下、紙面の都合上割愛させていただきます。